

メイジフローシステム

神奈川県の本社工場は明治ゴム化成時代の97年に建設されたもので、空調制御については従来、蒸気を使用する吸収式冷凍機でエア

メイジフローシステム（神奈川県開成町、澤井照嘉社長）は、1900年創業のゴム業界の老舗メーカーである明治ゴム化成（東京都新宿区、岩崎吉夫社長）から自動車部品事業の分離独立により、2004年に設立された。自動車用ホース分野でグローバルに事業を展開している。

モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦

④

水冷式冷却チラー導入



空調の電力コスト5割減

20年ごろから更新を検討し始めた。温度管理が必要な工程もあり、空調に不具合が続くと生産がストップする

スクも高まっていた。空調管理が必要な場所に対する設備の増設や空冷式設備なども検討したが、既存の設備を生かせる

最適と判断した。クーリングタワー（冷却水ポンプ、冷水および冷却水を送る）や冷水および冷却水を送る

結果、約50%のエネルギーコスト低減が確認できた。蒸気による配管の不具合もなくなった。従来からの吸収式冷凍機はセントラル式で不具合が

電気式の水冷式冷却チラー導入が、外気を利用して工場内を冷却できる冬場に完了した。導入効果では、稼働を開始した23年4月から8月までの電力使用量を前年同月の吸収式冷凍機使用時の蒸気を電力換算して比較した

結果、約50%のエネルギーコスト低減が確認できた。蒸気による配管の不具合もなくなった。従来からの吸収式冷凍機はセントラル式で不具合が

め、1ユニットが壊れても他で補って稼働や修理ができる。同社では主力であるオイルブレイキホースなどの精度を高め、今後の電気自動車（EV）化に向けた動きに備えていく方針。毎月省エネの状況を報告し、コストを適切に管理する体制でモノづくりを推進していく。

【事業所概要】▽所在地 神奈川県開成町延沢31の7、0465・83・22
22▽主要生産品目 自動車用各種ホースの開発・製造・販売▽年間CO₂排出量 11820ト

（相模原・八矢卓之）
（水・金曜日に掲載）